



# 出会いに感謝 「自主・創造」

文責 辻 大吾

## 本校「人権の日」の取組から・・・

毎月10日を「人権の日」として、当日もしくはその前後日の朝の会の時間に、校内放送を通して教職員が人権に係ることを中心に、自身のエピソードや思いを語る時間を設定しています。今回は、その中から最近の放送内容をピックアップして掲載したいと思います。

【2月12日朝の放送】 皆さんが出かけた先で、もし目の不自由な方が困っておられたら何て声をかけますか？何て声をかけようかと考えてくれた人、声をかけること自体勇気がいることで、どう行動に移そうかと考えてくれたことは本当に素敵なことだと思います。



さて今回、この質問をしたのは、私が学生の時にこんなことがあったからです・・・

その日は1歳年下の妹とJRで出かけるため最寄り駅まで行っていました。当時は今のようにICOCAも普及しておらず、目的の駅まで切符を買おうと駅の切符売り場に行くとき、白い杖をついた年配の方が、切符売り場の前で切符を買いたいけれど、何やら困っておられる様子でした。私は何かしてあげなくてはと声をかけようと思いました。しかし実際は、私よりもはやくに一緒にいた妹が「何かお手伝いできることはありますか？」と声をかけ、その方は切符を買って改札口に向かわれました。

実はこのとき、私は妹の言葉に大きな衝撃をうけていました。「何かお手伝いできることはありますか？」という妹の言葉は、親切を押し付けるわけでもなく、その方が望まれるのであればお手伝いしますよという、相手の気持ちに寄り添った声かけだったからです。私は多分「手伝ってあげましょうか？」といった言葉を言おうとしていたと思うのですが、なんだか、相手ができないことを見下し、あなたができないことを私がやってあげるよと言っているように思えて恥ずかしかったこと、そして、妹が先にその方に話してくれて本当によかったと思ったのを覚えています。

話は変わりますが、小1の娘が最近、ディズニーランドに一度も行ったことがないから連れて行ってほしいと言います。保育園のときから、戦隊もの等、お兄ちゃんに影響されたテレビ番組ばかりを好んで見ていたので、ディズニーのプリンセスをどこまで知っているか確認したくて、映画やテレビ番組等で見たことのある「アナと雪の女王」のエルサとアナや「美女と野獣」のベル、実写版でも見たことのある「シンデレラ」等、ディズニープリンセスについて、娘と話す時があります。歴代いろいろなプリンセスが登場しているディズニー映画ですが、1950年に上映された

映画「シンデレラ」、彼女は王子様に助けられ幸せになるプリンセス。ベルは王子様と共に魔女の魔法を解いたプリンセス。そして、アナとエルサは自分自身の行動で未来を切り拓いたプリンセス。時代が移り変わるとともに世の中の女性像は、ディズニーのプリンセス像のように変容していきました。守られる側から、自らが活躍していくプリンセスへと変わってきていると感じます。

では、その時代の流れって誰が作るのでしょうか。歴史上名前も残らない、何百万、何千万という人達の思いが集まってできるのではないのでしょうか。そう考えると、今、自分がどんな思いで、どんなことを意識して生活しているかでの未来の有り様も変わってくるように思います。

あなた自身が、あなたの友だちと、クラスメートと、あなたに関わる全ての人と、そ



して、これから出会うたくさんの人とともに、今よりもっと自分らしく生き活きと生活できる環境になればと思っています。

【1月10日朝の放送】 3学期が始まり、休み時間に教室である生徒さんと話している時、こんな質問をしました。「(あなたの)2025年の抱負はなんですか?」すると、その生徒さんはこう答えてくれました。「生きることです。」私はその答えを聞いた時に、「当たり前のことのように思うけれど、実はとても大切なことかもしれないよなあ…」と、深く考えさせられました。

皆さんの命は、なぜ今ここに存在しているか分かりますか?十数年前の皆さんの誕生の日に、お母さんのお腹から命をかけてこの世に出てきたはずです。そして、お母さんも同時に自身の命をかけて皆さんを産んでくれたはずです。たくさん思いや願いを込めた名前をつけてもらい、何もできない赤ちゃんを家族や周りで囲んでくれた人たちが、愛情をこめて大切に育ててくれたことと思います。

私も3年前に母親になり、命を守ることの大変さを知りました。高熱や窒息、ちょっとしたことで赤ちゃんが命を失ってしまう可能性があります。家族がどれだけ苦勞をして大切に私をここまで育ててくれたのか、想像するだけで胸が熱くなります。自分の命を繋いでくれた母や家族への感謝の気持ちを忘れずに、わが子を絶対に自分が守るんだ!という決意をして、命を大切に繋いでいます。そうやって、皆さんの命は周囲の人たちに大切に大切に守ってもらいながら、今に繋がっています。そして、辛いことや悲しいことがあっても、負けずに生きていこう!という自分の気持ちがあるから、今の命が繋がっています。ぜひこれからも自分の命を大切に、また周りの人の命も同じように大切に生きていってほしいなと思います。

最後に私の祖母のエピソードをお伝えして今日のお話を締めくくろうと思います。89歳の祖母はいつもとびきりの笑顔で私や私の子ども(ひ孫)に話をしてくれます。先日普段の会話をしていた時に、「死にたくなることがあるんよ」と思いを打ち明けてくれました。よくよく話を聞くと、自分のお母さんやお父さん、配偶者も他界し、とても寂しい気持ちになることがあるそうです。でも、祖母はこう言ってくれるのです。「生きているだけで儲けもん。生きているからこそ、美味しいご飯も食べられる!なんといっても可愛い孫やひ孫に会える!」と笑顔で伝えてきてくれました。皆さんの存在が生きがいとなっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

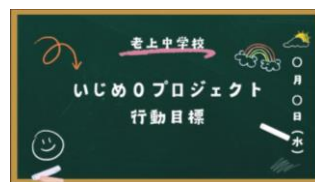
生きていることが、命があることが、なにより大切なこと!!!とてもとても幸せなこと!!!!



老上同和教育推進協議会「人権のつどい」が、2月19日(水)橋岡会館で行われました。その中で、本校2年生の生徒が人権作文の発表を、中学校PTAが今年度の活動報告をしました。3/1発行「りばてい老上」も併せてご覧ください。



人権学習において作成した、「いじめをなくすための学級行動目標・行動宣言文」をもとに、



生徒会がPTAと共催して動画を作成しました。本校HPならびにYouTubeくさつチャンネルにアップしています。皆様、是非ご覧ください。

[草津市立老上中学校|「いじめ0\(ゼロ\)プロジェクト」動画\(PTA共催\)](https://www.youtube.com/watch?v=JiZOpGzIf0A)

<https://youtu.be/JiZOpGzIf0A>

### 草津市からのお知らせ《草津市就学援助費給付制度について》

草津市では、小・中学校に在学するお子さんがおられるご家庭で、経済的な理由により就学に必要な経費の負担にお困りの保護者の方に、学用品費の一部や学校給食費等を給付する就学援助費給付制度を実施しています。

受給を希望される場合は、申請書に必要事項を記入し、学校まで提出してください。なお、受給要件に該当しない場合は認定できませんのでご承知ください。

申請書や制度の説明につきましては、学校または草津市役所学校教育課(6階)でお渡ししますので、お問い合わせください。